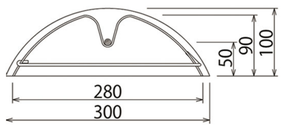
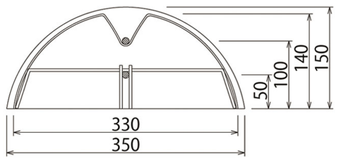
eフレーム100type 150type 200type

断面図

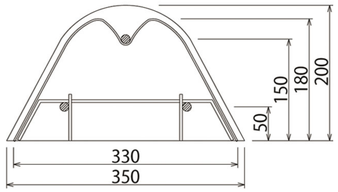
eフレーム100



eフレーム150



eフレーム200



材質

名　称	規　格
クリンプ金網	φ2.3㎜　亜鉛めっき鉄線 JIS G 3547　SWMGS-2
鉄筋受・幅止筋	φ4.0㎜　亜鉛めっき鉄線 JIS G 3547　SWMGH-2

施工手順

人力切崩し・法面整形	自然斜面においては伐採・人力切崩し・法面整形を行う。
法面清掃工	法面のゴミ・浮石等を除去する。
金網設置工	法面に対し金網をアンカーピンで確実に固定する。
法枠組立工	eフレーム・鉄筋受・鉄筋を組立て、アンカーを打設する。
枠内シート養生工	モルタルの飛散を避けるため枠内をシートにて養生する。
法枠吹付工	クリンプ金網を目安として法枠にモルタルを吹付ける。
枠内吹付工	枠内に植生基材吹付工等を施工する。

お問い合わせ　eフレーム協会
〒421-1212
静岡県静岡市葵区千代1丁目3-3
TEL：054-295-7345
FAX：054-266-7210
Mail：info@eframe.jp
URL：http://www.eframe.jp

代理店

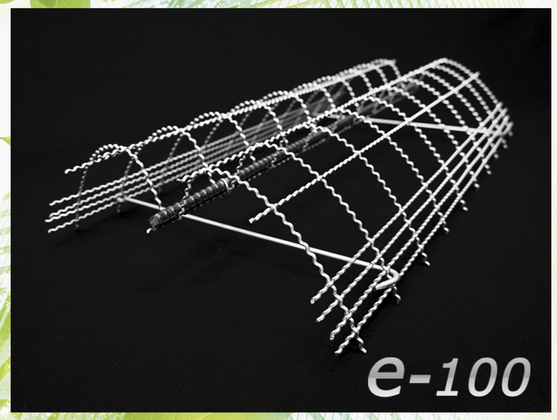
【第4版】

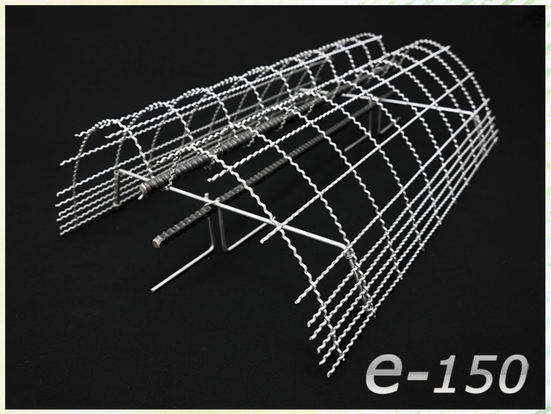
国土交通省新技術情報提供システム
NETIS
登録No. CB-170007-A

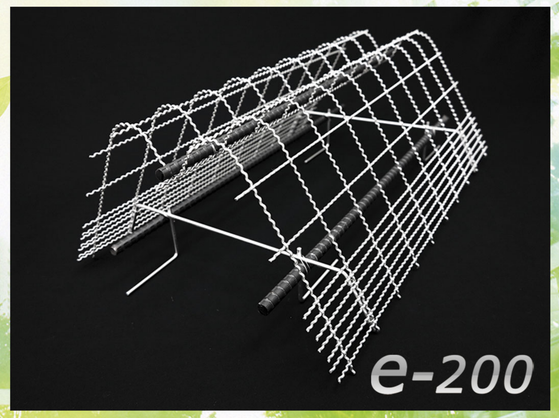
従来の吹付枠工と同等の作業性
モルタルの剥落防止に効果的
治山・道路・急傾斜に最適

山型吹付枠工

eフレーム



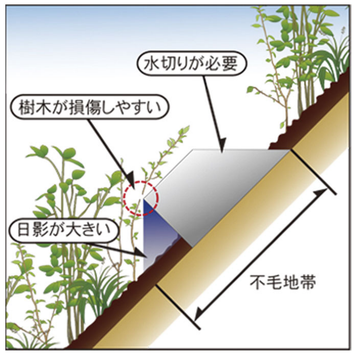




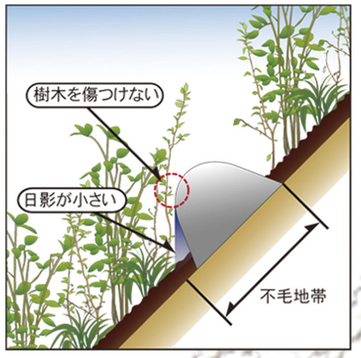
eフレームの特長

- 急斜面での設置が容易
- 吹付モルタルの剥落を防止
- 金網型枠がクラックを抑制
- 部材が軽量で運搬等の作業性が良好
- 金網型枠が目安となり確実な出来形を形成
- 法面に対して経済的なフレーム断面を選択可能

特長



● 従来の吹付枠の場合



● eフレームの場合

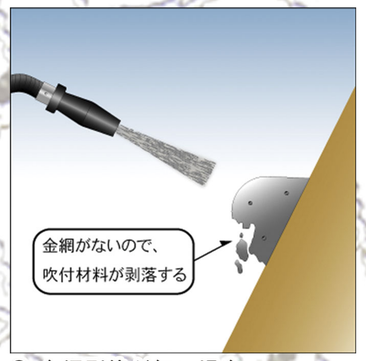
部材が軽量で運搬等の作業性が良好です。

従来の吹付型枠に比べ部材が軽量で運搬等の作業が楽です。

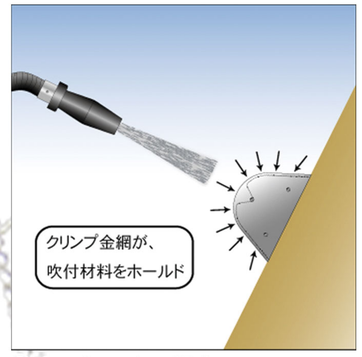
● 単位重量表

部材名	規格	単位重量	規格	単位重量
矩形フレーム	200×200	1.7kg / m	150×150	1.2kg / m
eフレーム	H=200 B=350	1.2kg / m	H=150 B=350	1.1kg / m

※当協会工場値



● 金網型枠が無い場合



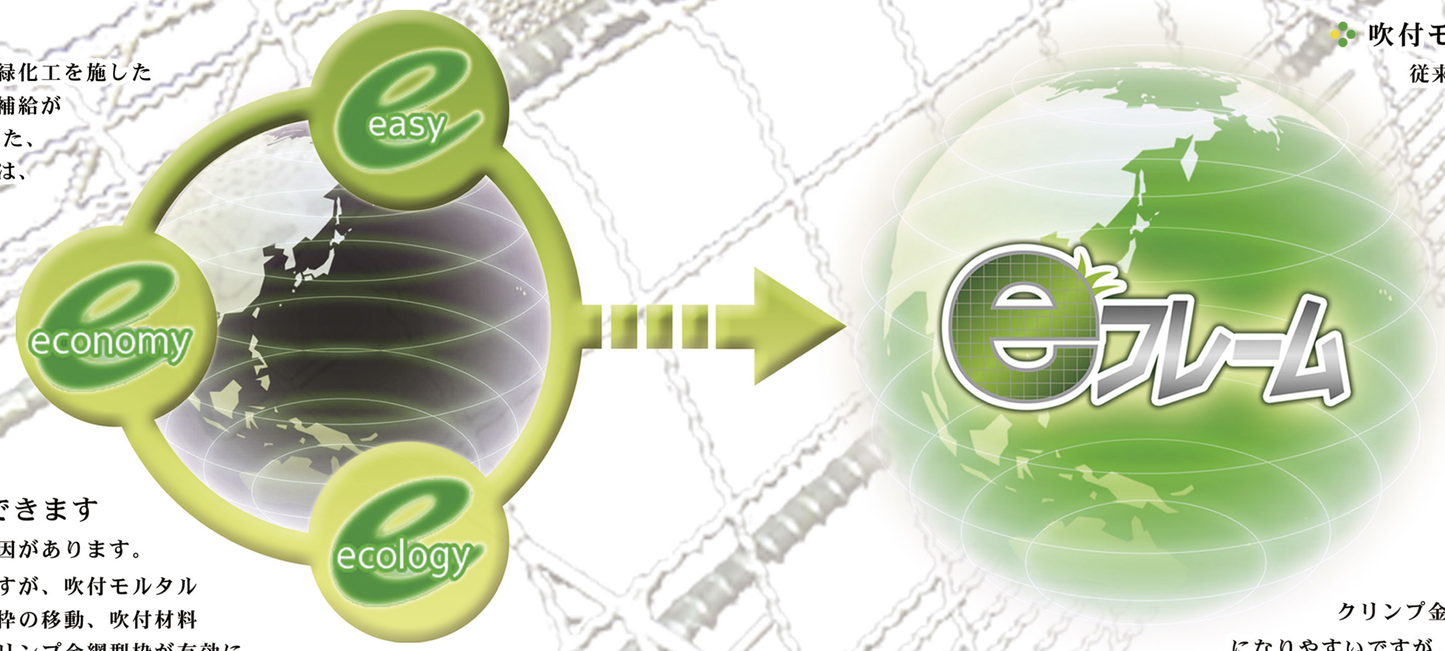
● eフレームの場合

植物誘導に優れています

法枠形状を山型にすることにより、枠内緑化工を施した場合、水平梁下部の直下まで日照・水分補給が可能となり鮮やかな緑化ができます。 また、従来の吹付枠工梁に比べ導入種によっては、乗り越えて繁茂し、法面全体を被覆しますので景観保護にも優れた効果を発揮します。

吹付モルタルの剥落が防止できます

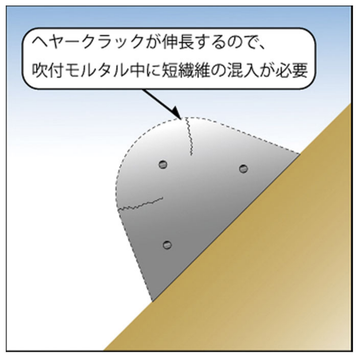
従来の簡易吹付法枠は金網型枠が無いため、急勾配の法面での施工が 困難でした。eフレームはクリンプ金網型枠により法枠表面付近で吹付材料をホールドし、吹付モルタルの剥落が防止できるので、より吹付の作業性が向上しました。



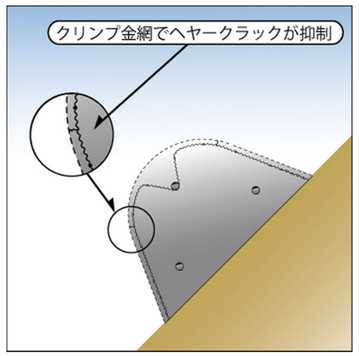
金網型枠がクラックを抑制できます

クラック発生原因として、いろいろな原因があります。気象条件等、避けられないものもありますが、吹付モルタルが硬化してゆく過程で想定される吹付型枠の移動、吹付材料のダレ、吹付材料の収縮等について、クリンプ金網型枠が有効に作用するので、吹付材料をホールドしクラックの発生を抑制します。

● 短繊維を混入しない場合



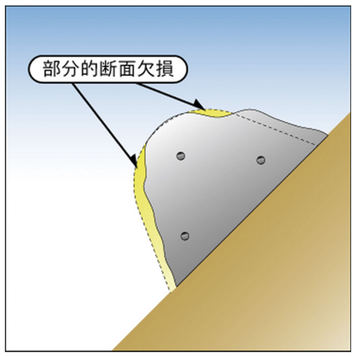
● eフレームの場合



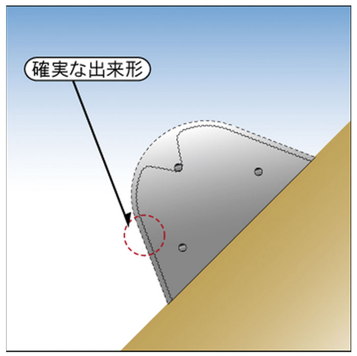
金網型枠が目安となり確実な出来形を形成できます

クリンプ金網型枠が無い場合は部分的に断面欠損になりやすいですが、eフレームはクリンプ金網型枠が目安となり確実な出来形が形成され、吹付作業が簡単になりました。

● 金網型枠が無い場合



● eフレームの場合



法面に対して経済的なフレーム断面を選択できます

各種フレーム断面があり、切断加工しやすいので、多様な梁間隔で設計が可能です。

種類	規格	標準梁間隔
eフレーム 100	H=100 B=300	c.t.c 1300
eフレーム 150	H=150 B=350	c.t.c 1500
eフレーム 200	H=200 B=350	c.t.c 1500